

無料相談会 200回

外国人の問題解決の助言などをす
るため行政書士や弁護士、ボランテ
ィアらでつくりあげている「外国人ライ
フサポート」（松下清高代表）の無
料相談会が200回に達し、大分市
のアートプラザで記念講演会があっ
た。相談会は1996年から月1回
程度のペースで開き、昨年11月に2
00回に到達。松下代表は「勉強会
などで相談方向上を図り、300回、
400回を目指して継続していきたく
い」としている。

講演会



外国人と暮らしやすい大分市
無料相談会200回に寄る
行政書士 伊藤 精 氏

外国人の相談を受ける上で必要な能力や心構えについ
て話す行政書士の伊藤精さん。大分市のアートプラザ

「外国人ライフサポ
ート」は県内で初めて「法
務大臣承認申請取次行政
書士」となった伊藤精さ
ん(58)が、95年に「大分
出入国事務取扱協議会」
として設立。翌年から、
外国人からの入国・在留
手続きや国籍取得などの
相談に無料で応じる会を
始めた。2009年に現
名称に改め、現在はオア
シスタワー(同市)内の
国際交流プラザで、結婚

外国人の問題解決へ助言

開設の「本音聞くことが大事」 伊藤さん

や就職、生活上のトラブ
ルなど寄せられた幅広い
問題の解決を図ってい
る。

講演会では伊藤さんが
「外国人と暮らしやす
くしたい大分県」をテーマ
に話し、「国によって善
悪の判断すら異なること
を念頭に、一人一人の背
景を考慮した上で本音を
引き出してあげることが
大事」と指摘。今後、県
内でも外国人の増加が予
想されることから「通訳
や日本語を教えるボラン
ティア団体とも連携し、
支援体制を強化してい
く必要がある」と強調し
た。

講演を聞いた同市の木
村智子さん(24)は「私も
法律関係の仕事をしてい
るので、相手の立場を考
える伊藤さんの姿勢はと
ても参考になった」と話
していた。

(大塚俊幸)